

三国堀

この広くて四角い堀は、城の防御機能と貯水池の両方として機能した。堀は城の周りの排水路から運ばれた雨水で満たされている。この堀は元々、城郭の内側を囲んでいた大きな堀の一部だったが、そのほとんどは池田輝政（1565-1613）が 1601 年に姫路城を再建した際に埋め立てられた。